

第2～5回部会（エリア別指針の方向性）において ご意見・議論のあった内容

1 全般

- 大学と連携してまちづくりをしていきたいという姿勢として、大学をまち柄に幅広く取り入れ記載してはどうか。
- 空き家・空き地など今あるストックを利活用することが京都市にとっては重要。供給量拡大施策にはキリがない。
- 安全・安心や防災という視点について、都市マスにしっかり書いておくべき。
- 環境負荷への配慮は、エリア別だけではなく、総則的に重要なポイントとして書いておくべき。
- ウェルビーイングなまちについて、エリアレベルではなく、全体の方針として記載してはどうか。
- 自由に外出できない人など、福祉の観点も重要である。
- イエローゾーンについて、立地適正化計画の居住誘導区域から外すことで、リスクがあることを一般の方に理解してもらいやすくなるのではないかな。
- イエローゾーンについては、一律の基準で指定されてしまうということや、補助率が下がるというデメリットもあり、居住誘導区域から外さない方がいいのではないかな。
- ⇒ （部会後に委員に個別に確認したご意見）洪水では、災害履歴や被害想定により高リスクとされる区域であっても、既成市街地では居住制限が必ずしも徹底されていない。一方、イエローゾーンは地形条件に基づき広範に指定されている。これのみを除外することについては、慎重であるべきと考える。
- エリア名について、駅名などの書きぶりを統一するなど、市民にとってより分かりやすい表記にすべき。
- 中点や「」等の使い方について、統一した方が良い。
- 目標とする都市の将来像のリード文の書きぶりを他と合わせておくべき。
- 「暮らし」に「子育て」というフレーズも入れてはどうか。
- 道路がどのように役立っているのかが伝わりやすいような表現とした方が良いのでは。
- 「商業機能等」は「商業機能や文化施設など多様な機能」としたほうがよい。
- 「住まう」のタイトルについて、用途MIXの意味であれば、変えたほうが良い。
- 福祉的な視点もどこかに入れてもいいのではないかな。
- 良好な景観形成と自然の保全で重複している記載は整理してはどうか。

2 北部

- 左京区は空き家が多いので、特定のエリアで空き家をスタートアップオフィスに利活用するためのマッチング等をしてはどうか。
- 出町柳駅前をにぎやかにする必要があるのかは疑問だが、駅北側と南側を一体的としたエリアを形成していくことは重要だと感じている。

- 「西陣おじ」のように若い世代の活力が発生し得る施設を後押ししていくような都市計画をしていくことには賛成。
- 織屋建ては西陣エリアにしかないもので、壊される前に町家の雰囲気を残した活用ができるようにしていけたらよい。

3 都心部

- オフィスの集積エリアがKRPだけでは足りていない状況で、いかに京都駅周辺に持ってくるができるかが重要。
- 主たるゲートは京都駅、利便性としてのサブゲートは山科駅、さらに下の階層のサブゲートとして二条駅等があるなど機能的にうまく分けていければよい。
- 四条通西側は今後高辻通あたりまでにぎわいを広げていくことを目指してはどうか。
- 東山区において、コミュニティ活動を頑張っている学区もあり、居住機能を保護していくような施策を強化していく必要がある。
- 七条駅周辺には職人の技術を育む大学もあり、今熊野の方まで広げて考えると、スタートアップができるエリアになっていくのではと考える。

4 東部

- 狭小な戸建て住宅が多いエリアについては、居住環境などにも配慮しながら、都市計画を考えるべき。
- 市営住宅ストックが多いエリアであり、それらを活用した取組は非常に重要

5 南部

- 区画整理事業が進むと淀駅の拠点性も向上し、働く場の創出につながるので、より淀の拠点性が高まると考える
- 住居系の地域で小さな店舗やカフェなどがまちの表情として少しだけでも徒歩圏にあるとそれによって心豊かな生活になる可能性もある。

6 西部

- ネットワーク、市街地整備、防災の3つの観点から、右京区西部の都市計画道路整備は必要があると感じる。
- 嵐山においては、人流の分散を図ろうとしている他の施策と矛盾しないように将来像を検討していくべき。
- 戸建住宅の適切な更新について、更新だけではなく維持という考えも重要。
- 桂川のまち柄として、祇園祭の駒形稚児を出す上久世集落があるなど、古くからの歴史を持つまちといった面もある。
- 太秦天神川駅周辺について、映画村や広隆寺辺りが右京の中心なのでエリアを大きくしてはどうか。
- 市民は行政界を意識せずに生活しており、一部向日市側の地図も記載してはどうか。

上記内容を反映し、素案を作成 パブリックコメントの実施

パブリックコメント概要

- 募集期間
令和8年4月24日（金）から5月31日（日）まで
- 意見募集結果
意見書数：436通 意見数：1,641件

